

令和4年度 秋田県立秋田北高等学校 学校評価

		分掌名(研修部)	記載者 佐藤康一
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 組織的な授業改善、「北高型授業」の充実を図ることで、キャリア教育を推進する。 2 研修成果を共有し活用し合うことで、学校力の向上に資する。 		
具体的な計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 個人や教科による教材研究の充実を推進する。 2 教科の枠を超えた授業参観・研修を推進する。 3 県内の各大学や関係機関との連携を密にする。 4 全職員が研修の機会を得られるよう情報提供する。 5 紙面や報告回答を通じて研修成果を共有し合い、活用を呼びかける。 		
具体的な取組状況	前期評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業研修については前期相互授業参観等の機会を通して実施した。 2 生徒対象の授業アンケートについては、考える時間を確保した授業および自分の考えを伝えたり表現したりできる授業、見通しをもって学習に取り組める授業について、アンケート項目に含めた。 3 県内の各大学や関係機関との連携については、教育実習生や教職インターンシップ学生の受け入れを通して、また、新型コロナウイルス感染対策に配慮しつつ実施した。 4 研修機会に関する全職員への情報提供については、ND掲示板への情報掲載により、全職員が情報を得ることができるようにした。 5 研修成果の共有については、相互授業参観等でのお互いのコメントを職員会議で報告した。 	総合評価
	後期評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 後期相互授業参観および研究授業等の機会を通して、各教科間相互の授業研修を実施することができた。今年度はICTの活用に関する視点での研修が多かった。 2 教育実習生や教職インターンシップ学生の受け入れ等については、例年と時期を変えたり分散化させることで新型コロナウイルス感染対策に配慮しつつ実施することができた。 3 校外での研修会および研究発表会等については、前期に引き続き、ND掲示板、Googleクラスルームに案内を掲載することで全職員が情報を得ることができるようにした。 4 授業アンケートを実施し、各教科での授業改善に資することができた。 	B
今年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相互授業参観で職員がより多くの授業を参観できるようにする必要がある。 ・ICT機器等について、さらに効果的に活用する必要がある。 		今後の改善策
			<ul style="list-style-type: none"> ・他教科の授業を参観する期間を設ける。 ・ICT機器等について有効活用の研修機会を設ける。

I

—